



GREEN BRIDGE

こんにちは。御前崎市のナカモクです。
工務店様の家づくりのパートナーとしてお客様に満足して
頂ける家づくりを支援させて頂くため数々の最新情報をお知らせいたします。

住宅設備機器の新商品情報から、長期優良住宅や様々な
補助金などといった新しい制度の仕組みや動向をいち早く
皆様にお届け致します。

お時間のある時に目をとおしていただき、家作りの豆知識として
家づくりを考えているお客様にもご利用いただけたら幸いです。



April

SCHEDULE 2022.04

日	月	火	水	木	金	土
					1 エイプリルフール	2 国際こどもの本の日
3 日本橋 開通記念日	4 あんぱんの日	5 ハアットの日	6 しろの日	7 労務管理の日	8 出発の日	9 ナカモク休業日 大仏の日
10 女性の日	11 メール法 公布記念日	12 パソの記念日	13 喫茶店の日	14 坂本BD	15 遺言の日	16 チャップリンデー
17 職安記念日	18 ウッドデッキの日	19 地図の日	20 郵政記念日	21 民放の日	22 アースデー	23 サングソルデーの日
24 植物学の日	25 歩道橋の日	26 世界的 所有権の日	27 哲学の日	28 主権回復記念日	29 昭和の日	30 図書館記念日

ナカモクGW休暇は5月3日(火)～5日(木)となります。

詳しい内容やお見積り、ご相談など・・・
『ナカモク』までお気軽にお問い合わせください。

株式会社 ナカモク
〒437-1604
御前崎市佐倉4680-56
TEL: 0537-85-2041
FAX: 0537-85-2241
<http://www.naka-moku.co.jp/>



☆2022年度 住宅における省エネ関連施策の動向☆

<2050年カーボンニュートラル実現に向けて>

政府は2050年カーボンニュートラル達成に向け、2030年度の温室効果ガス排出量を2013年度比で46%削減することを目標として掲げています。このうち、家庭部門においては、新たな地球温暖化対策計画において約66%削減という高い目標を掲げ、住宅・建築物分野については、省エネ性能の確保・向上の取組を進めるとともに、再生可能エネルギーの一層の導入拡大に取り組むことが求められています。これらの取組を進めるため、昨年「脱炭素社会に向けた住宅・建築物の省エネ対策等のあり方検討会」が設置されました。

この検討会では、2050年に目指すべき住宅・建築物の姿として、ストック平均でZEH・ZEB基準の水準の省エネ性能が確保されていることと、太陽光発電設備等の再生可能エネルギーの導入が一般的となっていることなどを示しました。その上で、2030年については「新築される住宅・建築物についてはZEH・ZEB基準の水準の省エネ性能が確保されているとともに、新築戸建て住宅の6割において太陽光発電設備が導入されていること」との目標を掲げ、併せてこの目標達成に向けたロードマップが提示されました。

住宅・建築物カーボンニュートラル総合推進事業 (国交省)

カーボンニュートラルの実現に向けて、住宅・建築物の省エネ化を推進するため、省エネ性能の高い住宅・建築物の整備や、既存住宅の改修等を総合的に支援する事業を創設。

- ①LCCM住宅整備推進事業(新規)
ライフサイクル全体を通じたCO2排出量をマイナスにする住宅(LCCM住宅)の整備を支援
- ②地域型住宅グリーン化事業
中小工務店等によるZEH(ゼロ・エネルギー・ハウス)の整備等を支援
- ③優良木造建築物等整備推進事業(新規)
主要構造部に木材を積極的に使用した非住宅建築物・中高層住宅の整備を支援
- ④長期優良住宅化リフォーム推進事業
既存住宅の長寿命化や省エネ化等に資する性能向上リフォームを支援
- ⑤住宅エコリフォーム推進事業(新規)
地方公共団体の取組と連携しての既存住宅の省エネ改修を支援

ZEH・省エネ改修等に対する支援の 継続・充実

ZEHの普及促進については、遅くとも2030年度までに省エネ基準をZEH基準に引き上げて義務化するという目標に向け、今後さらに加速していくことが見込まれています。

- ①戸建て住宅ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス
(ZEH)化等支援事業(国交省・環境省・経産省)
戸建て住宅の高断熱化による省エネ・省CO2化を支援
ZEH住宅、ZEH+住宅、断熱リフォームに対する補助
- ②住宅・建築物需給一体型等省エネルギー
投資促進事業(経産省)
工場・事業場等において、既存設備を補助対象設備に更新し、省エネルギー化を図る事業への補助
(住宅は対象外)

省エネ上位等級の創設と 認定基準の見直し、引き上げ

断熱等性能等級5

(1) 外皮平均熱貫流率 (U_A [W/(m²·K)]) 及び冷房期の平均日射熱取得率 (η_{AC}) の基準値

等級		地域区分							
		1 (夕張等)	2 (札幌等)	3 (盛岡等)	4 (金沢石川等)	5 (水戸等)	6 (東京等)	7 (熊本等)	8 (沖縄等)
等級5	U_A	0.4	0.4	0.5	0.6	0.6	0.6	0.6	—
	η_{AC}	—	—	—	—	3.0	2.8	2.7	6.7
等級4	U_A	0.46	0.46	0.56	0.75	0.87	0.87	0.87	—
	η_{AC}	—	—	—	—	3.0	2.8	2.7	6.7
等級3	U_A	0.54	0.54	1.04	1.25	1.54	1.54	1.81	—
	η_{AC}	—	—	—	—	4.0	3.8	4.0	—
等級2	U_A	0.72	0.72	1.21	1.47	1.67	1.67	2.35	—
	η_{AC}	—	—	—	—	—	—	—	—

(2) 結露の発生を防止する対策に関する基準

等級	必要な措置 (○: 必要 - : 不要)			
	防湿層の設置	通気層の設置	構造熱橋部の断熱補強	コンクリートへの断熱材の密着
等級5*	○	○	○	○
等級4	○	○	○	○
等級3	○	○	—	○
等級2	○	—	—	—

※ 等級4と同じ基準とする

一次エネルギー消費量等級6

等級	BEI
等級6	0.8以下*
等級5	0.9以下
等級4	1.0以下
等級3 (両方のみ)	1.1以下

一次エネルギー消費性能: BEI

$$BEI = \frac{\text{設計一次エネルギー消費量}^{*2}}{\text{基準一次エネルギー消費量}^{*2}}$$

*1 太陽光発電設備によるエネルギー消費量の削減は見込まない

*2 事務機器等/家電等エネルギー消費量 (通称: 「その他一次エネルギー消費量」) は除く

2022年4月1日施行

現行では、住宅性能表示制度における省エネルギー対策等級について、断熱性能等級は等級4、一次エネルギー消費量等級は等級5が最高等級とし、評価にあたってはいずれか一方を選択することとなっています。

今年4月1日より、ZEH水準の等級として、「断熱等性能等級5」、「一次エネルギー消費量等級6」が新たに設定されます。

2022年10月1日施行予定

長期優良住宅の省エネ基準として現行「断熱性能等級4」のみが求められていますが、「断熱性能等級5」及び「一次エネルギー消費量等級6」の両方が求められる予定。性能評価制度では、更なる上位等級として「断熱性能等級6(6・7地域 UA値0.46以下)」及び「等級7(6・7地域 UA値0.26以下)」の創設が検討されています。

秋頃施行予定

「エコまち法」に基づく低炭素住宅の認定基準の見直しとして、一次エネルギー消費量BEI 0.8以下、強化外皮基準(6・7地域 UA値0.60以下)に整合させる方向で検討されています。その他の基準として、「太陽光発電設備の設置」の要件化、選択項目の中に「V2H充放電設備等の設置」が追加される予定となっています。